

0AFL301 法哲学

1.0 単位, 1・2 年次, 夏季休業中 金7,8

吉永 圭

授業概要

この授業のテーマは「正義論」である。特に功利主義、ロールズのリベラリズム、ノージックのリバタリアニズム、及びフェミニズムを論じる。

備考

01NA201と同一。

対面(オンライン併用型)

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

リーガルマインド

授業の到達目標（学修成果）

正義論の内容を、根本的な哲学を踏まえて理解した上で、それぞれの理論の帰結の相違を説明できる。

キーワード

正義 効用 最小国家 権原理論 公私二分論批判

授業計画

講義形式。毎回の授業後に（オンデマンドの場合メールなどで）質問を募り、次回の授業に反映させる。予習として、下記の参考文献などを利用して、授業計画に掲げられた理論について大まかに理解しておく和良好的。復習として、授業で配布されたレジュメやノートを見直すことで知識の定着を図って欲しい。

第1回 功利主義1

第2回 功利主義2

第3回 功利主義3

第4回 リベラリズム1

第5回 リベラリズム2

第6回 リベラリズム3

第7回 リバタリアニズム1

第8回 リバタリアニズム2

第9回 フェミニズム1

第10回 フェミニズム2

履修条件

配当年次による

成績評価方法

期末レポート100%

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

予習として、下記の参考文献などを利用して、授業計画に掲げられた理論について大まかに理解しておく和良好的。復習として、授業で配布されたレジюмеやノートを見直すことで知識の定着を図って欲しい。

教材・参考文献・配付資料等

教科書

担当教員が作成するレジюмеを配布する。

参考書

1. 宇佐美ほか『正義論』(法律文化社、2019年)特に第1部
2. 三成ほか『ジェンダー法学入門〔第3版〕』(法律文化社、2019年)
3. 平井ほか『正義』(嵯峨野書院、2004年)

オフィスアワー等(連絡先含む)

授業後に対応する

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

哲学的な議論が多くなるので、実定法との関係を自分の中で意識しながら受講することが望ましい。

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)

0AFL302 法交渉学

1.0 単位, 2 年次, 夏季休業中 集中
田村 陽子

授業概要

備考

授業実施日：8/4、8/11、8/25
01NA261と同一。
対面(オンライン併用型)
対面（オンラインも場合によっては可）

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

リーガルマインド、法交渉術

授業の到達目標（学修成果）

法曹として必要な知識・技術には、法律の知識や解釈力のみならず、実際の実務では法交渉力を身につけていることも重要である。この授業では、法律家に必要な実践的な能力としての法交渉術の基本を学んで、少しでも知識及び実力を体得することを目標とする。日本では、弁護士個人個人の経験に基づくところが多かったが、アメリカでは理論分析し、マニュアル化が進んでいる。世界中のローヤーもハーバード流交渉術を留学して学んでおり、今や世界的な法曹の技法として常識になってきている。日本の法曹も、もっと技術を学んで世界に通用するようになるべく、同じ知識・技術を学ぶ。

キーワード

法交渉学、法交渉術、リーガル・ネゴシエーション、調停、仲裁、コーカス、同席調停、別席調停、和解

授業計画

この授業では、アメリカのロースクール及びビジネススクールで広く教えられている交渉術、いわゆる「ハーバード流交渉術」を中心に、幅広く、法律家として必要な交渉術を学ぶ。ロール・プレイも行うので、毎回の来校・出席が必須となる。8月4日11時～17時5分（4コマ分）、11日13時～17時05分（3コマ分）、25日の日曜日13時～17時05分（3コマ分）の集中講義となる。

第1回 司法裁判とADRの差異および法交渉術の原則・総論について学ぶ。ロール・プレイの課題も行いたい。

第2回 法交渉術の各論（1）－提案、譲歩、ZOPA、BATNAなど交渉技術を学ぶ。

第3回 法交渉術の各論（2）－感情や嘘やだましなどの障害・妨害への対応策を学ぶ。

第4回 法交渉術の各論（3）－代理人弁護士としての法交渉について学ぶ。

第5回 法交渉術の各論（４）－調停人の技術について学ぶ。

履修条件

来校して授業での双方向式での質疑や学生通しのロールプレイに積極的に参加することが必須である。

成績評価方法

毎回のロールプレイの結果レポート（70点）および課題レポート（30点）の平常点100点で評価する。

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

学生どおしでのロール・プレイを宿題とすることがある。

教材・参考文献・配付資料等

ハーバード流交渉術に関する書物は、人生の書としてもいくつか所有することをお薦めするが、さしあたり基本書として以下を挙げる。

榎本先生の著書の『ローヤリングの考え方』第4章・第5章およびレビン小林久子先生の調停者ハンドブック（全文）を必携テキストとする。

なお、ハーバード流交渉術については、漫画も出ているようである。授業レジュメなどにおいても、適宜参考書籍を挙げるので参照してほしい。

1. 榎本修

ローヤリングの

考え方－法律 [https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:9784815810931)

相談・受任か [q=ISBN:9784815810931](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:9784815810931)

ら交渉・ADR

まで

2. レビン小林

久子 調停者ハ

ンドブック

[https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:9784797221213)

[q=ISBN:9784797221213](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:9784797221213)

3. ロジャー・

フィッシャー

＝ウィリア

ム・ユ－リー

[https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:9784837957324)

他 ハーバード [q=ISBN:9784837957324](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:9784837957324)

流交渉術 必ず

「望む結果」

を引き出せる!

4. ダニエルシ

ャピロ＝ロジ

ャー フィッシ

ャ 新ハーバー

[https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:9784062134415)

[q=ISBN:9784062134415](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:9784062134415)

ド流交渉術－

感情をポジテ

ィブに活用す

る

5. 小林秀之

[https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:9784535526273)

交渉から訴訟 [q=ISBN:9784535526273](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:9784535526273)

へ 交渉理論か

らみた民事訴訟

6. 鈴木義幸
コーチングか

ら生まれた熱 [https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?
q=ISBN:4887592140](https://tsukuba.summon.serialssolutions.com/advanced#!/search?q=ISBN:4887592140)

ームをつくる
4つのタイプ

オフィスアワー等（連絡先含む）

履修ガイド記載のとおり

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）

積極的にロール・プレイに参加し、参考図書を様々参照することについて、高い意識を持って出席すること。グループワークがあるため、オンラインでの参加は他のメンバーに手間をかけることになり、基本的には難しいので、教室に来られることを条件とする。やむをえない回がどうしてもあるときは成績評価については保証しないが、やり方については別途要相談。

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）

0AFL303 英米法

1.0 単位, 1 年次, 秋A 金7,8
安部 圭介

授業概要

英米法の歴史、英米法系の司法制度といった総論的部分と、特定の法分野について考察する各論的部分とを組み合わせ、英米法に関する幅広い基礎知識の修得を目指す。

備考

01NA202と同一。
オンライン(同時双方向型)

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

リーガルマインド

授業の到達目標（学修成果）

憲法・差別禁止法の分野に関する合衆国最高裁判所およびいくつかの州最高裁判所の重要な判例を取り上げ、現代アメリカ社会における司法の役割の実態について学習する。最先端の動きを学ぶことで、アメリカの法制度を概観するとともに、アメリカ社会で「法」が果たしている機能について幅広い理解を得ることを目標とする。

キーワード

連邦制, ステイト・アクション, デュー・プロセス, 平等保護, 表現の自由, 政教分離原則, ポリス・パワー, 制定法上の市民的権利

授業計画

日本語の教材を用いて、講義とソクラティック・メソッドを組み合わせる形式で行う。各回の授業では、その回のテーマにかかわる判例について解説し、その判例がアメリカの法体系の中で持つ意義を考えるとともに、そこで扱われている法的問題がアメリカ社会の中でどのような意義を持っているかについても探求する。各回のテーマは、後掲の授業計画の通りである。

- 第1回 最高法規としての連邦憲法、連邦制の構造
- 第2回 ステイト・アクションの法理
- 第3回 デュー・プロセスとプライバシーの権利
- 第4回 平等保護の基本的枠組み、平等保護の現代的展開
- 第5回 表現の自由
- 第6回 信教の自由と政教分離原則
- 第7回 財産権と土地利用規制
- 第8回 連邦憲法と州憲法、社会権、憲法改正

- 第9回 市民的権利、公共的訴訟と弁護士費用の敗訴者負担
第10回 死刑制度の現在

履修条件

配当年次による

成績評価方法

レポート試験100%

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業外における学修(予習・復習等)については、授業時に担当教員より示す

教材・参考文献・配付資料等

教科書

芹澤英明・安部圭介(共著)『ケースで学ぶアメリカ法』(有斐閣 近刊)

※開講時までには刊行されない場合は、教科書に代わる教材(プリント)を配布する。

参考書

- 1 樋口範雄・柿嶋美子・浅香吉幹・岩田太(編)『アメリカ法判例百選』(有斐閣 2012年)
- 2 田中英夫(編集代表)『BASIC英米法辞典』(東京大学出版会 1993年)

オフィスアワー等(連絡先含む)

授業後に対応する

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)

0AFL305 EU法

1.0 単位, 2 年次, 秋C 火7,8
レンツ カール

授業概要

第1章(第1回から第7回)「EU法と国内法」は、国内法の各分野(憲法、私法、刑法の順)からEU法を説明する。憲法・民法などは日本法科目でもあるため、馴染みやすい。

第2章(第8回から第10回)「EU運営方法条約の最も重要な条文」は、EU法の各領域を扱う。その際、実務における最も重要なところを集中的に説明する。輸入数量制限禁止、EU裁判所の地位などの問題を扱う。

2016年1月に「法学学習戦略」を発表したことを受けて、法学に関する効率の良い学習方法も、話題とすることがある。

備考

01NA203と同一。
オンライン(同時双方向型)

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

リーガルマインド

授業の到達目標(学修成果)

この科目の目標は、2009年12月発効のリスボン条約で大幅に改正された欧州連合(EU)法に関する概説である。また、EU法の最近の動きを紹介・議論することを通して、新しい問題に関する討論能力を養成することも目標の一つである。

キーワード

EU法, 人権憲章, 気候変動対策

授業計画

途中で全員に○×問題を出して、知識を確認する。さらに論点について問題を提起して、受講者に発言を求める。

- 第1回 EU法の体系
EUとECの関係、リスボン条約、一次法と二次法
- 第2回 EU法と国内法の関係
EU法の国内法に対する優劣問題に関する判例
- 第3回 立法手続きと民主主義
EUの機関、立法手続き、民法主義

- 第4回 消費者保護法
製造物責任、訪問販売、普通契約約款
- 第5回 会社法
情報公開、欧州株式会社、国際会計基準
- 第6回 経済刑法
独占禁止法における過料処分
- 第7回 エネルギー関連法
地球温暖化対策、再生進可能エネルギー促進
- 第8回 国境を越える貿易の自由
EU運営条約34条に関する通常事例と判例
- 第9回 EU裁判所の地位
EU運営条約267条に関する通常事例と判例
- 第10回 指令、規則と決定
EU運営条約288条に関する通常事例と判例

履修条件

配当年次による

成績評価方法

授業中に課される5回のレポートにより評価する。

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業外における学修(予習・復習等)については、授業時に担当教員より示す

教材・参考文献・配付資料等

教科書

教科書は使用しない。必要な情報はプリントで提供し、更に、関連インターネットページを積極的に活用する。

参考書

参考書を特に指定しないが、以下の情報源を推奨する:

Lenz, 法学学習戦略(2016年)、k-lenz.de/hgs

外務省「EU」ページ: k-lenz.de/k960

EU在日代表部ページ: www.euinjapan.jp

オフィスアワー等(連絡先含む)

授業後に対応する

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)

0AFL309 公共政策

1.0 単位, 1 年次, 夏季休業中 水7,8

児玉 博昭

授業概要

公共政策とは、公共的な問題を解決する基本的な方向性と具体的な手段である。この講義では、政策過程に沿って、公共政策のデザインと決定、実施、評価に関する基礎知識を整理する。

備考

01NA253と同一。

対面(オンライン併用型)

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

リーガルマインド

授業の到達目標（学修成果）

公共政策はどのようにデザイン、決定、実施、評価されるのかを理解することを目標とする。

キーワード

政策デザイン, 政策決定, 政策実施, 政策評価, ガバナンス

授業計画

第1回 公共政策学、公共政策とは何か

第2回 アジェンダ設定

第3回 政策問題の構造化

第4回 公共政策の手段

第5回 規範的判断

第6回 政策決定と合理性

第7回 政策決定と利益

第8回 政策決定と制度、アイデア

第9回 公共政策の実施と評価

第10回 公共政策管理のシステム

履修条件

配当年次による

成績評価方法

課題レポート40%、学期末レポート60%

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業外における学修(予習・復習等)については、授業時に担当教員より示す

教材・参考文献・配付資料等

教科書

- 1.秋吉貴雄・伊藤修一郎・北山俊哉『公共政策学の基礎(第3版)』(有斐閣 2020)
- 2.併せて担当教員が作成するレジュメを配布する。

8参考書

- 1.ジョン・キングダム『アジェンダ・選択肢・公共政策』(勁草書房2017)
- 2.マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』(早川書房2010)
- 3.グレアム・アリソン、フィリップ・ゼリコウ『決定の本質第2版III』(日経BP社2016)
- 4.ピーター・ロッシ他『プログラム評価の理論と方法』(日本評論社2005)

オフィスアワー等(連絡先含む)

授業後に対応する

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)

0AFL311 立法学

1.0 単位, 1 年次, 秋C 木7,8

櫛原 利明

授業概要

法令の構造について理解し、その上で生の社会的事実を踏まえて、必要な規範を制定していくための要件や条文化に関するルール等を、実例に沿いながら学ぶ。

備考

01NA254と同一。

オンライン(対面併用型)

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

リーガルマインド

授業の到達目標（学修成果）

法令の構造や立法形式を理解して法令の読解力を高めるとともに、将来、自治体法務・企業法務等に関わる中で法令や規約類を立案することとなった場合や法律家として立法運動に関与することとなった場合等に資するよう、立法の基本概念や基本技術を身に付ける。

キーワード

立法技術 法令用語 法令読解 立法過程 立法政策 一部改正法

授業計画

多くの立法例を参照しながら法令の基本構造や構成要素について解説し、とりわけ複雑な条文の読解法を具体的に伝授するとともに、法文立案のための基本的事項を教授しつつ、教材を提示して実際に立案の演習も行う。

第1週 「立法学」序説、法令の体系(種類・効力)と構成形式・条文構造

第2週 立法技術論 : 立法技術(配字・用字・用語)と法令読解

第3週 立法過程論 : 立法事実、立法政策、条文立案過程、国会審議

第4週 立法内容論 : 実体規定の内容と制定法令の内容、新規法令の立案

第5週 一部改正法令 : 一部改正法令の構造・内容と立法技術

履修条件

配当年次による

成績評価方法

課題についての提出物 40%

期末試験 60%

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

授業外における学修(予習・復習等)については、授業時に担当教員より示す

教材・参考文献・配付資料等

教科書

必要に応じ教材プリントを配布する。

参考書

大島稔彦 『立法学 -理論と実務-』(第一法規・2013年)

オフィスアワー等(連絡先含む)

授業後に対応する

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

他の授業科目との関連

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)